

広報あまが



スポーツ愛ランド

2019

No.506 令和元年

5

特集1：全国闘牛サミットin天城

特集2：ありがとう平成！こんにちは令和！～天城町平成史～

第22回 全国闘牛サミット in 天城町



全国で闘牛文化を有する地域の関係者が一同に会す、全国闘牛サミットin天城大会が5月3、4日に開催されました。全国闘牛サミット協議会は、闘牛文化が残る全国6県9市町(岩手県久慈市、新潟県長岡市・小千谷市、島根県隠岐の島町、愛媛県宇和島市、沖縄県うるま市、徳之島3町)で構成され、各地域で持ち回り開催されています。天城町では11年ぶり2回目の開催となり、3日の幹事会から4日の闘牛大会・総会・交流会にかけて、全国各地から多くの関係者が来町されました。

快晴のもと松原闘牛場で開催された第22回全国闘牛サミット記念「日本一決定戦&ミニ軽量級優勝旗争奪天城町大会」(天城町闘牛協会主催)では、“今世紀最大のビッグマッチ!”と銘打たれた、徳之島全島一チャンピオンの「力道山」と沖縄王者の「有心邁進龍」の夢の対戦が実現。結びの横綱戦となった力道山vs有心邁進龍の一番は、終始互角の戦いを見せましたが、対戦タイムが20分を過ぎ、疲れが見えはじめた有心邁進龍を、地元の声援を追い風にした力道山が攻めたて、22分31秒で勝利を収めました。日本一の称号を手にした瞬間、多くの歓声とともに「ワイドワイド」の掛け声と手舞いの波が会場いっぱいに拡がり、徳之島闘牛の熱気が爆発。全国各地から来場した闘牛関係者も、その熱量に圧倒されたようでした。

4日午後在天城町防災センターで開催された総会では、今年度の事業計画などが承認され、次回開催地が新潟県小千谷市に決定しました。また、闘牛文化の振興・発展のために議論が行われたほか、沖縄こどもの国前園長高田勝氏を講師に招き「徳之島・沖縄の闘牛と動物愛護」と題した講演会も開催されました。「闘牛開催地域の交流促進や次世代への継承、地域活性化の推進」などを盛り込んだサミット宣言が採択され、総会は終了しました。総会終了後には、交流会も行い、各地域の親睦を深めました。



高田勝氏の講演



榎一馬さんも交流会を盛り上げていただきました!



次回開催地小千谷市の大塚市長とともに万歳三唱



有心邁進龍を追い立てる力道山



勝利のワイドー!



天城町平成史



● 平成元年新年号 表紙 「スポーツ愛らんど」
広報あまぎの平成はこの表紙からスタートしました。“スポーツ愛らんど”として歩みを進めてきた天城町の平成を物語る表紙ですね。

真夏の夜の夢
ハウンドドッグコンサートが実現

徳之島の若者たちの六年越しの夢が実現、七月十二日人気ロックバンド「ハウンド・ドッグ」のコンサートがありました。

会場の総合運動公園野球場には三方町の老若男女約三千五百人が駆け付け、生のロック演奏に魅了されました。

徳之島の若者が一体となって運営した今回のイベントは、今後若者の定着、島の活性化につながるばかりでなく、野球場を舞台にした野外コンサートの成功は施設の多目的利用の面からも大きな成果になりました。



● 平成6年8月号 11P 「真夏の夜の夢」
当人気絶頂であったロックバンド「ハウンドドッグ」のコンサートの記事です。会場となった天城町総合運動公園野球場には、徳之島中から3500名が駆けつけました。

5月1日、新天皇陛下の御即位にあたり新元号「令和」がスタートしました。それとともに約30年間続いた「平成」が幕を閉じました。今月号では、改元にあわせて平成の広報あまぎのなかから記事をピックアップし、平成の天城町を振り返ってみます。天城町が歩んできた平成史をご覧ください。



● 平成7年1月号 表紙 「天城町役場新庁舎落成」
天城町役場現庁舎が完成し、平成6年11月に開庁式・落成式典・祝賀会が行われました。広報誌の中面では特集が生まれ、真新しい庁舎が紹介されていました。



● 平成7年8月号 2P 「念願の大阪直行便就航」
日本エアコミューター（JAC）による大阪直行便が就航。残念ながら、搭乗率の低迷により平成9年1月に運航休止となってしまいました。令和では、本土直行便の再就航と安定運航の実現が願われます。

新元号「令和」は万葉集から引用され、人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ、という意味が込められています。
 (首相官邸HPより)いよいよ新しい時代がはじまりました！



実業団女子陸上チーム 初の徳之島合宿
 本日は初日の合宿である。三十一日の選手発表会、三十一日の選手発表会、三十一日の選手発表会... (text continues with details of the training camp)



平土野工場の灯を守ろう
 南西糖業林平土野工場休止問題が浮上
 南西糖業が、来期から平土野工場休止と徳和工場再稼働の方針を打ち出している問題で、町・農会・農協・さとうきび生産農家・農工会などの関係者は、決起大会や中央への陳情を実施するなど、町のシンボルともいえる平土野工場の存続を求めています。

●平成9年5月号 2P
 「平土野工場の灯を守ろう」
 サトウキビ生産量の減少や設備老朽化などにより、南西糖業平土野工場の操業休止問題が浮上、工場存続を願う署名運動なども行われました。残念ながら工場存続には至らず、平土野地区のシンボルは平成14年に解体されました

●平成29年3月号 4P
 「防災センター落成式」
 平成29年2月4日、防災センターの落成式典が行われました。大災害時にも対応できる環境が整備されました。令和は災害の少ない時代になることを願うばかりです。



●平成8年9月号 6P 「アトランタ五輪で西見選手を応援」
 徳之島出身者戦後初のオリンピック選手となった、レスリング西見健吉選手(与名間出身)のアトランタ五輪応援ルポの記事です。西見選手は見事8位入賞を果たしました。来年はいよいよ東京五輪。徳之島出身者の出場はあるのでしょうか。



●平成25年11月号 5P 「国体トライアスロン競技開催決定！」
 第75回国民体育大会トライアスロン競技の天城町開催決定の記事です。「燃ゆる感動かごしま国体」はいよいよ来年(令和2年)に迫ってきました。今年は、リハーサル大会も予定されています。



●平成28年1月号 3P
 「方言フェスタin徳之島」
 平成27年11月1日に開催された「第30回国民文化祭・かごしま2015」の紹介記事です。今や徳之島の「文化」となりつつある「結シアター手舞」の活躍はこのときからはじまりました。



ピカピカの1年生！ 入学式



岡前小学校

4月8日(月)、町内の各小中学校で入学式が行われました。新入生のみなさんは、時折緊張した表情を見せながらも、先生や上級生たちからの温かい歓迎の言葉に笑顔をみせていました。



与名間分校



天城小学校



兼久小学校



西阿木名小学校

— 2019夏一番海開き・安全祈願祭 —

4月29日(月)、天城町与名間海浜公園にて“2019夏一番海開き・安全祈願祭”が行われました。天城高千穂神社芝田宮司による安全祈願の神事や関係者によるテープカットのほか、毎年恒例の潮干狩りなどが行われました。当日は、時折雷も鳴るあいにくの天候でしたが、多くの家族連れが雨にも負けじと、楽しんでいました。

これから本格的な夏を迎えます。海のレジャーを楽しむ機会が増えていくと思いますので、事故にはくれぐれも気を付けて、楽しい夏を過ごしましょう。



— ユイの心を育む 生涯学習開講式 —



4月21日(日)、天城町防災センターにて平成31年度生涯学習開講式が行われました。開講式には平成31年度の生涯学習講座・中央女性学級・高齢者学級・教科セミナーの講師や受講生が参加しました。受講生代表あいさつでは、生涯学習講座代表の初田一心さん(天小3年、毛筆講座受講)が「筆で上手に書けるよう先生の話をよく聞いて頑張りたい」と抱負を述べていました。中央女性学級・高齢者学級代表の前田和美さんは「出

会いと仲間づくりを大切に、教養を高められるよう頑張りたい」と、教科セミナー代表の中原晴希さん(天小5年)は「将来の夢である医師を目指して勉強を頑張りたい」とそれぞれに挨拶を行いました。今年度は、生涯学習講座・自治公民館講座・自主活動グループ講座にあわせて440名の申込み(4月現在)があり、受講生の皆さんはそれぞれの自己研鑽に向けて決意を新たにしていました。



— 平土野港にぎわう！ クルーズ船 —

4月9日(火)に“にっぽん丸”(商船三井客船(株)、22,472トン)、4月18日(木)に“ぱしふいっくびいなす”(日本クルーズ客船(株)、26,594トン)が平土野港へ寄港し、多くの観光客が徳之島に来島されました。

“にっぽん丸”は平成29年10月以来3度目の寄港。今回は博多港からの「春の屋久島・徳之島・沖縄クルーズ」の一環として、約350名の乗客がクルーズに参加。乗船客はレンタカーや大型バスで島内一周やオプションツアーで島内観光を楽しみました。“ぱしふいっくびいなす”は平成29年4月以来4度目の寄港。今回は神戸港からの「春の南西諸島 島めぐりクルーズ」として339名の乗客が乗船され、松原闘牛場での闘牛観戦などを楽しみました。両日とも天候に恵まれ、平土野港の岸壁では島の特産品やお土産品の販売やカフェ等が出店され、多くの乗船客が買い物などを楽しんでいました。出港時には送迎セレモニーが行われ、天小金管バンドや天城中学校や樟南第二高校の吹奏楽部の演奏や、天城町地域女性団体連絡協議会の皆様の踊りなどで乗客の方々をお見送りしました。また両日とも関係機関だけでなく、多くの地域住民の方々もお越しいただき、船内見学や乗客の皆様を歓迎されていました。次回は、7月28日(日)に“ぱしふいっくびいなす”の平土野港寄港が予定されています。



にっぽん丸



ぱしふいっくびいなす



煌びやかなぱしふいっくびいなすの船内



送迎セレモニーの様子



にぎわう出店ブース



— 日本最大級の海底鍾乳洞発見～ウンブキ～ —



平成31年3月、天城町浅間の“ウンブキ（陸の中の海）”が日本最大級の海底鍾乳洞であることが明らかとなりました。

発見したのは、水中探検家で水中カメラマンの広部俊明氏。2018年9月から調査を開始、これまで4回の調査の結果、海底湖とも呼べる大海底鍾乳洞を発見しました。

第1回調査は、入口から300m付近まででしたが、その様相から「国内最大」のものであることを確信し、さらに、海底で縄文時代に作られた可能性の高い土器が発見されました。（研究

者によると、この土器が以前からここにあったのであれば、縄文初期のものである可能性があるとのこと。）

第2回調査から、本格的に潜水調査チームが結成され、徐々に調査の距離を延ばしていく中で、新種の可能性もあるエビや、ウンブキアナゴの国内初水中映像の撮影にも成功しました。

第4回調査で、直線距離約700m、総延長にして1km程を確認し、これまでに広部氏が発見し日本最大といわれる“広部ガマ”（総延長約680m）の総延長を更新し、日本最大の海底鍾乳洞であると思われています。

全容解明に向けて、今後も天城町と広部氏を中心とする潜水調査チームがさらに連携を図りながら潜水調査を継続し、令和2年夏頃から一般公開できるよう、準備を進める予定です。

【注意】

ウンブキ（陸の中の海）での潜水は大変危険です。

天城町からの潜水調査許可者以外の潜水は禁止されています。



徳之島フットボールアカデミー(TFA) 2大会連続の快挙！

徳之島3町の中학생で構成されるサッカークラブチーム徳之島フットボールアカデミー(TFA)が、4月20日～21日に沖永良部島にて開催された南三島大会で全試合無失点、全勝優勝で大会4連覇達成、さらに翌週の4月28日～30日に奄美大島で開催された、群島の強豪チームが出揃う第25回南海日日旗争奪奄美地区中学サッカー大会において、徳之島のチームとして史上初となる優勝を飾り、初めて島に優勝旗を持ち帰りました。設立から4年目、徳之島出身のコーチのもと、一丸となり日々練習を重ねています。



— 農業塾開講式 —

5月16日(木)、農業センターにて“農業塾”の開講式・第1回講義が行われました。5年目となる今年度は、町内外から146名が受講登録、計6回11テーマで講座を実施予定です。開講式では、2018年度鹿児島県フラワーコンテスト(県花き振興会主催)の表彰伝達式もあわせて行われ、“その他切り花部門”にトルコギキョウを出品して金賞を受賞した須川俊和さん(天城集落)に森田町長より賞状が手渡されました。開講式後に行われた第1回講義では、農業センター瀬川所長による“夏野菜の育て方”講座が行われました。



平成31(2019)年度慰霊巡拝への参加募集のご案内(厚生労働省)

参加可能な遺族の範囲

慰霊巡拝を行う地域における戦没者の配偶者、父母、子・兄弟姉妹(その配偶者)、孫、甥・姪 ※一度も参加したことのない方が優先されます。

参加のための条件

- *健康状態が良好なこと(医師の証明書が必要)
- *原則として80歳以下であること(81歳以上の方は事前相談)



実施地域

アッツ島 / モンゴル国 / イルクーツク州 / ハバロフスク地方
 中国東北地方 / ソロモン諸島 / 沿海地方 / 東部ニューギニア / インド
 マリアナ諸島 / フィリピン / 硫黄島 ※実施地域により実施時期、申込締切日は異なります

参加費(実費)

海外 おおよそ20~35万円
 硫黄島 おおよそ20~30万円
 ※実費以外は国庫補助となります

詳しい問い合わせ先
 鹿児島県くらし保健福祉部 社会福祉課調査援護係
 電話:099-286-2840



この近くで
つかえます。

【Amagi-free-WiFi】

平成28年度及び平成30年度天城町公衆無線LAN環境整備事業により、町内で公衆無線LAN(Amagi-free-WiFi)の整備を完了しております。

設置箇所は、役場等の町管理公共施設5ヶ所・集落公民館14ヶ所・学校施設(体育館)8ヶ所・観光及び自然関係7カ所に設置しており、誰でもご利用いただけます。(注:ご利用時には認証が必要となります。)ご利用方法や、設置箇所についてお問い合わせは、天城町役場 企画課 85-5171 まで





奄美群島で最古 下原洞穴で 土器発見！

したばるどうけつ

下原洞穴遺跡の**13,000**年前の層から、**日本最古級の土器が出土！**当時は氷河期が終わって暖かい気候になる途中、今より海面が70メートルくらい下だったので、島の面積は1.5倍くらいありました。気候は今より3℃くらい低く、現在の屋久島、種子島に近い気候や植生だったかもしれません。また、日本列島は、瀬戸内海が陸地となり、本州、四国、九州はつながっていて、全国に2万人あまりの縄文人が暮らしていたようです。徳之島の人口は、多くても20～30人くらいで、奄美大島や、沖縄本島など周辺の島を移動しながら生活したようです。

原寸大です



【隆帯文土器】 人差し指と親指でつまむようにして作った帯状の盛り上がりがあり、その上下には爪や指で押した跡があるのが特徴。

13,000年前
1.5倍くらい、広がった！



隆帯文土器が出土した意味とは？

下原洞穴遺跡ではこれまで、7,000～9,000年前に作られた、**南島爪形文土器**、**波状条線文土器**などが出土していました。一方、13,000年前ごろ、縄文時代開始期の土器、**隆帯文土器**は、現在の本州、四国、九州(当時は全部つながっていた)の主に太平洋側と、長崎から出土していました。縄文土器ではもっとも古いタイプのもので、琉球列島までは伝わっていないとされていました。が…徳之島で発見されたことによって、縄文時代の初めころには、すでに土器を作る技術を持った狩猟採集民が渡来し、琉球列島に住んでいた可能性が出てきました。縄文人は意外と？ しっかりた航海術を持っていたのかもしれない。

周辺の島々との関係

北には、奄美大島、加計呂麻島、請島、与路島がつながった大きな島、南には現在の沖縄諸島、伊是名島や渡嘉敷島など周辺の島々と沖縄島がつながった広大な島がありました。徳之島から、北へ与路島周辺まで20キロ、南へ沖永良部島周辺まで30キロほどで、一日あれば海を渡ることができたようです。また、当時の黒潮は徳之島の西側を流れていなかったため、海を渡る際に、海流の影響が小さかったのでは？

謎の巻貝と秋利神の地形

汽水域の貝類イシマキガイや、陸生の貝類オオヤマタニシ、オオシヤマタニシのほか、現在の秋利神には生息していない**トウガタカワナ**の一種の殻が、たくさん出土しているのです。このカワナは大きく、河口近くの干潟になるような、泥の上で生活する種。当時の秋利神は、1キロほど沖に海岸線があり、もしかするとマングローブのような場所があったかもしれません。なぜか二枚貝は、ほとんど出土していません。貝毒を知っていて忌避していたのでしょうか？ もしかすると、洞穴よりずっと下、当時の海岸には、捕った魚介類を食べるキャンプがあった、その遺跡は現在、海中で眠っているのかも？！



もっと情報が見られる
電子版はこちら





新時代が
始まる...!
新しいレジに
チェンジだ!

軽減税率制度の実施まで残りあとわずか。
軽減税率への準備のために早めのレジの入れ替えを！
今なら消費税の軽減税率対策補助金を利用できます。
補助金の申込みが締め切りになる前に早めのご準備を！



補助金が出る
今が替え時よ!



2019年10月1日から軽減税率制度がスタート。レジ・システム補助金の期限が迫っています!!

消費税の軽減税率制度の実施にともない、八百屋、魚屋、肉屋、パン屋、スーパーなどの飲食料品を販売する事業者は、新しい記載ルールに則った請求書や領収書の発行を求められることがあります。
※レストランであっても、テイクアウトなどの飲食料品の販売がある場合には、上記の対応が必要となることがあります。
⇒軽減税率制度対応のレジやシステムを導入しておく、スムーズに対応できます。
飲食料品を日頃から販売している事業者は、軽減税率対策補助金を活用できます。
補助金を利用するためには、本年9月30日までにレジ・システムの導入・改修、支払いを完了させる必要があります。

軽減税率対策補助金の申請類型

軽減税率対応として、3つの申請類型があります。

<p>A型 軽減税率対応レジ・販売機の導入等支援</p> <p>対象：レジなどの本体、レジ付属機器、設置費、修繕費</p> <p>補助率：対象経費の原則50%</p> <p>補助上限：1台当たり20万円</p>	<p>日型 受発注システムの改修等支援</p> <p>対象：受発注システム改修費などの補助率：対象経費の原則50%</p> <p>補助上限：1000万円(受注システム) 150万円(受注システム)</p>	<p>C型 請求書管理システムの改修等支援</p> <p>対象：請求書管理システムの改修費など</p> <p>補助率：対象経費の原則50%</p> <p>補助上限：1事業者当たり150万円</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------

完了期限：2019年9月30日まで。詳しくはHPをご確認ください。
補助金の申請はレジメーカー・販売店等による代理申請が利用可能です。
レジの入れ替えの際はレジメーカー・販売店等にお問い合わせください。

申請はコチラ <http://kzt-hojo.jp/>
補助金についてのお問い合わせ 軽減税率対策補助金事務局
☎ 0120-398-111 9:00~17:00(土・日・祝除く)





税務職員採用試験受験者募集

人事院九州事務局と熊本国税局では、税務職員採用試験の受験者を募集します。

申込受付は令和元年（2019年）6月17日（月）から開始しますので、受験資格等及び受験申込の詳細は、国税庁ホームページの試験概要（[「税務職員採用試験」](#) [「検索」](#)）をご覧ください。また、次のところへお問い合わせください。

なお、申込受付期間及び申込先は、申込方法及び希望する第1次試験地により異なりますので、ご注意ください。

- 1 人事院九州事務局（電話092-431-7733）
- 2 熊本国税局人事第二課試験研修係（電話096-354-6171 内線6046）
- 3 大島税務署（電話0997-52-4321）※ 自動音声案内

10月1日から消費税の軽減税率制度が実施されます

本年10月1日から消費税及び地方消費税の税率が8%から10%に引き上げられ、同時に消費税の軽減税率制度が実施されます。

軽減税率の対象品目は、大きく分けて①飲食料品（酒類・外食等を除いたもの）、②週2回以上発行される新聞（定期購読契約に基づくもの）の2つです。

軽減税率制度の実施に伴い、事業者の方は、帳簿や請求書等を税率ごとに区分して作成する必要があるほか、レジやシステムの導入・改修・入替えが必要になる場合もありますので、早めのご準備をお願いします。

軽減税率制度に関する詳しい情報は、国税庁ホームページ（www.nta.go.jp）内の特設サイト「消費税の軽減税率制度」をご覧ください。

また、ご不明な点は、軽減コールセンター（電話 0570-030-456）、もしくは最寄りの税務署にお尋ねください。

大島税務署（電話0997-52-4321）※自動音声案内に従い「2」を選択

サマージャンボ宝くじ が発売 サマージャンボミニ されます！

- サマージャンボ宝くじ
 - 1等 5億円×20本 前後賞 1億円×40本
(販売総額600億円・20ユニットの場合)
- サマージャンボミニ 3,000万円
 - 1等 3,000万円×40本 前後賞 1,000万円×100本
(販売総額240億円・8ユニットの場合)



発売期間 令和元年7月2日（火）から8月2日（金）まで
抽選日 令和元年8月14日（水） **価格** 各1枚 300円

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。





環境研究総合推進費【4-1707・4-1804(4)】シンポジウム

徳之島の外来種と希少種 ～島の自然と暮らしを守るために私たちにできること～

近年、よく耳にする“外来種”。世界自然遺産を目指すうえでも外来種対策は大きな課題となっています。実は、外来種は私たちの暮らしにも大きな関わりを持っており、ときには安心安全な住民生活を脅かすこともあります。そんな外来種への対策と、世界自然遺産の島としての将来を一緒に考えてみませんか？

日時：2019年6月29日(土) 13:30～16:00
場所：天城町役場4階ユイの里ホール(入場無料)

第一部

趣旨説明

城ヶ原貴通 (沖縄大学)

「徳之島での希少種保全の現状と
外来種対策の必要性」

基調講演

五箇公一 (国立環境研究所)

「希少種を外来種から守る
～島嶼生態系における外来生物対策～」



五箇公一

国立環境研究所生態リスク評価・対策研修室室長。近年は、テレビや新聞等マスコミを通じて生物多様性・生態リスクの啓蒙にもつとめる。

第二部

パネルディスカッション

テーマ

「徳之島の自然と暮らしを
守るための外来種対策」

パネリスト

- 五箇公一 (国立環境研究所)
- 亘 悠哉 (森林総合研究所)
- 宮本旬子 (鹿児島大学)
- 岩浅有記 (環境省 沖縄奄美自然環境事務所)

コーディネーター

城ヶ原貴通 (沖縄大学)

共 催：天城町、環境研究総合推進費4-1707・4-1804(4)、外来ネコ問題研究会
後援(予定)：環境省沖縄奄美自然環境事務所、鹿児島県、奄美群島広域事務組合
徳之島地区自然保護協議会、徳之島エコツアーガイド連絡協議会、沖縄大学

お問合せ：天城町役場企画課 TEL 0997-85-5171・5178



天城町 絆 コミュニティサイト
<http://www.yui-amagi.com/>



スマホでいつでもどこでも

広報あまぎ





天城町地域おこし協力隊通信 vol.6

地域おこし協力隊による連載企画「地域おこし協力隊通信」。しばらく休載していましたが、本号より復活です。今回は、1月に情報対策室(AYT)に着任した竹村和也さんに、AYTでの勤務や徳之島珈琲の魅力について語っていただきました。

- AYT -

企画課情報対策室(AYT)というところで勤務しています。学校行事や色々なイベントを大きなカメラを持って撮影をさせていただいています。これからも色々徳之島の魅力を見つけて、発信できれば良いなと思っています。ご迷惑をかけることもあるかとは思いますが、取材撮影に行ったらご協力をよろしくお願いします。また、取材してほしい事などありましたらご依頼の連絡をください。全てに対応できる訳ではありませんが行ける所は行きたいと思っています。



- 徳之島珈琲 -

コーヒーが好きで、大阪で「シフクノカフェ」というカフェを経営していました。徳之島ではコーヒー農家さんがいらっしゃると聞いて、畑の見学やお話を聞ける機会がありました。日本国内でコーヒーを育てられるのは凄いことです。僕もこれから徳之島でコーヒーづくりができればいいなと思っています。勿論そんなに簡単なことではないですし、時間もかかる事です。ただ最初にまだ育てる場所が見つかっていません。もし「コーヒーを育てても良いよ」という所があれば是非教えていただきたいです。昔畑だった所が今は手つかずで荒れているから使わないような所、潮風があたりにくい山に近い所が理想的です。また、昔コーヒーを育てていた方や、ご自身のお庭にコーヒーの木がある方など教えていただきたいです。コーヒーの木の植える場所は探していますが、先日、農業センターで『市民農園』というのをお借りしました。少し食べられる野菜などを育ててみようかと思っています。

地域おこし協力隊の活動の様子は、フェイスブックでもご覧いただけます <https://www.facebook.com/amagicho.crcs/>

香典返し

故人	寄付者	金額
西川 アイ	西川勝己	3万
上岡 フミ	上岡弘明	5万
三原 エキ子	三原洋祐	3万
木村 サツ	木村英雄	3万
岡本 ツル	藤戸豊子	2万
里ハチエ	里義美	10万

平成31年3月1日から平成31年4月30日までの届出分のうち承諾を得た方のみ掲載しています。

ごめいふくをお祈りします

氏名	年齢	住所
西川 アイ	(93)	天城
前田 秀和	(51)	与名間
石原 信弘	(64)	瀬滝
上岡 フミ	(93)	浅間

ごめいふくをお祈りします

氏名	年齢	住所
松岡 市子	(70)	天城
田中 ヤス	(86)	天城
中田 雅規	(70)	瀬滝
山崎 浩務	(61)	瀬滝
三原 ひさ	(82)	岡前
木村 サツ	(88)	平土野
三原 エキ子	(93)	浅間
岡本 ツル	(92)	岡前
西松 一美	(71)	平土野
重田 節朝	(64)	瀬滝
里ハチエ	(90)	天城
田尻 トヨ子	(74)	平土野
面村 助應	(94)	西阿木名
川元 徳助	(79)	浅間
松村 武昌	(93)	瀬滝
岡村 武廣	(87)	瀬滝
高志 文士郎	(86)	瀬滝
實 シズ	(84)	浅間
高田 りつ子	(63)	天城
富山 悦子	(89)	大津川





いつも笑顔がありがとう
すくすく大きくなってね
中水 真大ちゃん
折朗 浅間
平成30年5月19日



いつもニコニコ♥癒しをあり
がとう
眞喜屋 紬ちゃん
昭人 岡前
平成30年4月9日

まちのアイドル

ご掲載希望の方は下記までご連絡ください。

☎85-5178

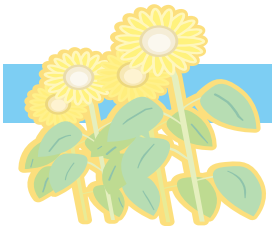
(4月1日現在)	
世帯数 (戸)	3,097
総人口 (人)	5,950
男	3,050
女	2,900

(3月届出分)	
出生 (1)	死亡 (15)
転入 (42)	転出 (103)

(5月1日現在)	
世帯数 (戸)	3,115
総人口 (人)	6,978
男	3,061
女	2,917

(4月届出分)	
出生 (4)	死亡 (12)
転入 (61)	転出 (25)

わたしたちのまち



友良 悠太	天城
古勝 葉那	徳之島町
上岡 竜也	浅間
山本 彩乃	浅間
永井 良幸	岡前
福山 愛菜	徳之島町

いつまでもおしあわせに

氏名	保護者	住所
義村 桜介	茂 兼久	兼久
吉川 未悠	勝貴 瀬滝	瀬滝
吉原 優萌	宏明 天城	天城
久 蒼史	隆昌 兼久	兼久
浅野 綸	泰樹 天城	天城

おた めん で じ ょ う

町民の動き

- 平成31年3月
- 1金 職員全体朝礼
 - 2火 樟南第二高等学校卒業式
 - 5火 平成31年第一回天城町議会定例会(開会)
 - 9土 第三回田舎の会杯杯 総合運動公園グラウンド天然芝生化完成記念集落対抗グラウンドゴルフ大会
 - 12火 徳之島警察署次長来庁(異動挨拶)
 - 13水 町内中学校卒業式
 - 14木 結シタター関係者来庁
 - 15金 鹿児島県大島郡事務所表敬訪問(大島市)
 - 16土 徳之島まつり(兵庫県)
 - 18月 不納欠損処分検討委員会
 - 19火 横浜・八景島シーパラダイス職員来庁
 - 20水 鹿児島県観光課長来庁
 - 22金 平成31年第一回天城町議会定例会(最終本会議)
 - 23土 第22回全国闘牛サミットIN天城大会第2回実行委員会
 - 25月 徳之島用水土地改良区第9回通常総会及び理事会(徳之島町)
 - 26火 天城町清掃事業審議会・委嘱状交付
 - 27水 大島支庁総務企画部長・県税課長来庁
 - 29金 平成30年度 退任式

- 平成31年4月
- 1月 平成31年度 年度始め式
 - 2火 天城町有畜鳥獣捕獲対策協議会
 - 4木 町内観光施設整備現場状況確認
 - 8月 町内小学校・中学校入学式
 - 9火 クルーズ船「つばし丸」歓迎セレモニー
 - 10水 県庁用務(10日・11日)(鹿児島市)
 - 11木 鹿児島大学 産学・地域共創センター訪問(鹿児島)
 - 15月 クリーンセンター施設に関する西目手久
 - 16火 (株)奄美設計集団(建築家)社長来庁
 - 17水 奄美群島振興開発基金理事長来庁
 - 18木 クルーズ船「はしふいっくびいなす号」歓迎セレモニー
 - 19金 クリーンセンター施設に関する西目手久
 - 21日 第4回徳之島まつり
 - 22月 平成31年度 生涯学習開講式
 - 23火 第75回国民体育大会天城町実行委員会第2回総会
 - 24水 徳之島地域総合営農推進本部会他2協議会総会
 - 25木 奄美海上保安部長来庁
 - 26金 県政説明会(鹿児島市)
 - 27土 次期奄美開港計画(原案)に係る市町村長・議会議長説明会(鹿児島市)
 - 28日 徳之島防衛協会青年部発足式典・懇親会

